

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第111号

H29. 10. 31

後期に期待が!

日常での成長

～先生たちの思いを込めた指導で、
全校の前で立派にスピーチをする生徒が増えています～

10月10日、後期始業式を行いました。はじめに、生徒代表の1年生の[]さんは勉強とピアノの両立やめりはりのある生活を、2年生の[]君はキャプテンとして全体を見て行動を、3年生の[]君は勉強をしっかりと、そして友達と支え合い悔いのない生活を、と3人ともに堂々と後期の決意を発表しました。式の中で、私からは生徒たちに次のような話をしました。



「前期・後期でトラック2周と考えると、義務教育は小学校1年生から中学校3年生の卒業までの9年間でトラック18周を走る長距離走。特に、3年生は18週の最後の1周となった。前芝の仲間で過ごす最後の半年は、最後の1周。ラストスパートをどう走るかは自分次第。クラスメイトや友達との絆を深めてほしい。また、自分の希望する進路の実現に向けて、授業態度・課題の取り組み・受験勉強で絶対に後悔をしないようにしてほしい。2年生は、リーダーとして3年生がいるうちにアドバイスを受けながら、前芝中学校を動かすという自覚をもって、自主的に考え、行動してほしい。1年生は、中学生になって成長した。次は来年の4月、次の1年生を迎える前に、お手本となる先輩になれるように、さらに成長をしてほしい。」

一方、24日の全校朝会で、1年生は福祉体験、2年生は名古屋分散で学んだことを発表しました。代表生徒数名ずつでのリレースピーチでした。一人一人が体験を通してまた一步成長したことを、素直な気持ちで発表しました。生徒の皆さんが、行事の「振り返り」を暗記して立派にスピーチをしたことに感心するとともに、その支えとして担任の先生方が、思いを込めて指導をしていただいていることに、感謝をしています。



スピーチの一部を、
今後の学校通信に
掲載します。

さて、生徒たちは、11月2日の合唱コンクールに向け、どの学年も先生たちと一緒に充実した練習をしています。本番はすぐそこまできましたが、心一つに最後の仕上げをし、前芝学校ならではの心に残る合唱コンクールを作り上げてほしいと願っています。木の香かおる自慢の体育館に、素敵なハーモニーを響かせてほしい! 歌詞の思いを、聴いている人たちに心を込めて伝えてほしい! と思います。1年生から3年生の保護者の皆さま、どうぞご来校いただき、生徒たちの輝く姿を見、響く歌声をお聴きください。また、後半に行われるバイオリンとピアノのミニコンサートもご堪能ください。(曲名等は10月24日配付の案内文書をご参照ください)